

シネラ・ニュース
December 2023



お嬢さん乾杯



山の音



三文役者



ツイゴイネルワイゼン



西鶴一代女

佐藤忠男選

日本映画セレクション

通常
上映

総合図書館収蔵の日本映画の特集。
「日本映画名作100選(佐藤忠男著)」および「キネ旬ベストテン」より

通常上映 総合図書館収蔵の8ミリ映画の特集

伝説の8ミリ映画作家 中山太郎傑作選



白い道



こころ



煙の見える海



遠い声



離島の人々

通常
上映

佐藤忠男選

日本映画セレクション

総合図書館収蔵の日本映画の特集。
「日本映画名作100選(佐藤忠男著)」および「キネ旬ベストテン」より

会期：12月6日(水)～24日(日) ※休館日・休映日除く
観覧料：500円(大人) 400円(大学生・高校生) 300円(中学生・小学生)

※定員制。各回入替制。 ※チケットはすべて当日券。前売り券はありません。(チケットの販売は上映の1時間前からです。) ※障がい者の方、その介護者(1人)は無料。福岡市在住の65歳以上の方は250円。(手帳や保険証などの原本の提示が必要です。) ※「わたすクラブ」会員の方は250円。(会員証の原本の提示が必要です。)

7 木 11:00
16 土 11:00
王将



監督：伊藤大輔
出演：阪東妻三郎、水戸光子 1948年/モノクロ/35ミリ/90分/大映京都

8 金 11:00
17 日 11:00
お嬢さん乾杯



監督：木下恵介
出演：佐野周二、原節子 1949年/モノクロ/16ミリ/89分/松竹大船

6 水 14:00
16 土 14:00
西鶴一代女



監督：溝口健二
出演：三船敏郎、田中絹代 1952年/モノクロ/35ミリ/137分/新東宝

9 土 11:00
20 水 14:00
山の音



監督：成瀬巳喜男
出演：山村聰、原節子 1954年/モノクロ/35ミリ/93分/東宝

明治の終わり、大阪・天王寺の長屋に住む坂田三吉は無類の将棋好き。プロ棋士を交えた大会に参加し勝ち上がった三吉は関根七段と対戦、反則負けとなる。これを機にプロになる決意をした三吉は関西を代表する棋士へと昇り詰める。そして関根八段と名人の座をかけて対戦する。実在の棋士坂田三吉の半生を映画化したもの。伊藤大輔監督の傑作であり、主演の阪東妻三郎の熱演が素晴らしい。

自動車整備工場を経営する石津圭三は仕事一辺倒で、34歳で独身だった。ある日取引先から旧華族の令嬢・泰子との縁談を持ちかけられる。身分が違うと嫌がる圭三だったが、会ってみると泰子の美しさに一目惚れ。しかし二人の交際はギクシャクしたものだった。戦後の華族制度の廃止、新興成金の誕生などの社会背景を盛り込んだコメディタッチの作品。原節子が木下恵介監督作品に出演した唯一の映画。

御所つとめのお春は想いを寄せる公家の所業のために御所を追放される。その後大名の妾になるが、島原の廓に売られるなど転落の人生を歩んでいく。井原西鶴の「好色一代女」を映画化したもので、田中絹代が主人公のお春を円熟した演技で表現する。「雨月物語」と並ぶ溝口健二監督の最高傑作と評価される、日本映画の名作である。

尾形修一と菊子の間に子どもはなく、修一は浮気をしており、夫婦関係は冷え切っていた。修一の父・信吾はかいがいしく舅夫婦の世話をする菊子が不憫だった。ある日菊子は外出するが、それは修一の子どもを墮すためだった。川端康成原作の映画化。菊子と信吾の間に漂うエロチックでサスペンスに満ちた関係が本作の特徴である。成瀬監督らしくない題材だが、監督の代表作の1本と評価は高い。

7 木 14:00
17 日 14:00
早春



監督：小津安二郎
出演：池辺良、岸恵子 1956年/モノクロ/35ミリ/143分/松竹大船

8 金 14:00
20 水 11:00
夜の河



監督：吉村公三郎
出演：山本富士子、上原謙 1956年/カラー/35ミリ/102分/大映京都

10 日 11:00
22 金 14:00
にあんちゃん



監督：今村昌平
出演：長門裕之、松尾嘉代 1959年/モノクロ/35ミリ/100分/日活

10 日 14:00
21 木 11:00
青春残酷物語



監督：大島渚
出演：桑野みゆき、川津祐介 1960年/カラー/35ミリ/96分/松竹大船

会社員の杉山正二は結婚8年目。子どもを亡くして以来妻の昌子とは倦怠期だった。ある日杉山は通勤仲間と一緒にハイキングに行き、若い女性千代と知り合い、デートするようになる。小津監督の第47作。小津は52年に鎌倉に転居し、脚本家野田高梧の家に出入りする若者たちとの交流から生まれた作品。一種の「サラリーマン」ものだが、家族の崩壊と再生という内容では「東京物語」とも通じている。

京染の老舗「丸由」の娘・きわはろうけつ染めを学んでいた。新作のデザインのために奈良を訪れたきわは、大学教授の竹村と知り合う。竹村には妻がいたが、二人は次第に惹かれあっていく。本作は吉村監督が自ら企画した初のカラー作品。撮影の宮川一夫による美しい京都の街並みや風景が素晴らしい。

昭和28年、佐賀県のお小さな炭鉱で暮らす一家を描いた作品。原作は安本末子という10歳の少女の日記で、彼女は映画に登場する4人兄妹の末っ子。炭坑で父親が死亡し、不況の影響で家族がバラバラになりながらも懸命に生きていく姿が感動的に描かれる。文部大臣賞を受賞した傑作。

大人の世界に興味を持つ女子高生・真琴は、見知らぬ男性の車に乗り、ホテルに連れ込まれそうになる。そこを助けた大学生の清は、男から金を取る。味をしめた二人は中年男を引っかけて金を脅し取っては遊び歩く。当時の社会背景を織り込みながら若者達の無軌道な暴走を描いた作品で、大島渚の監督第二作であり、出世作となった。

9 土 14:00
21 木 14:00
非行少女



監督:浦山桐郎
出演:浜田光夫、和泉雅子 1963年/モノクロ/35ミリ/124分/日活

東京で仕事に失敗した三郎は故郷の金沢に帰り、幼馴染の若枝と出会う。昼間から酒を飲む父親と、継母を嫌う若枝は荒んだ生活をしてきた。三郎は彼女を立ち直らせようと励まし勉強を教える。浦山監督の監督第二作。貧しい家庭環境の中でも希望を失わずに自立しようとする若枝を和泉雅子が熱演し、モスクワ映画祭金賞など高く評価された。

14 木 11:00
23 土 11:00
心中天網島



監督:篠田正浩
出演:岩下志麻、中村吉右衛門 1969年/モノクロ/35ミリ/102分/表現社・ATG

紙屋治兵衛は妻子のある身だが、遊女の小春と深い仲になる。小春を身請けしようとする治兵衛だが、金の工面ができない。そこに恋敵の太兵衛が小春を身請けするという話を聞く。近松門左衛門の浄瑠璃の映画化作品。詩人の富岡多恵子が現代語訳を行い、作曲家の武満徹が参加するなど、映画では多くの実験的試みがなされている。篠田正浩監督の代表作の1本。

15 金 11:00
24 日 11:00
私が棄てた女



監督:浦山桐郎
出演:河原崎長一郎、浅丘ルリ子 1969年/モノクロ・カラー/35ミリ/116分/日活

サラリーマン吉岡は社長の姪のマリ子と結婚の予定だった。吉岡はある日学生時代に付き合っていた女・ミツが自分の子どもを墮胎していたことを知り、慙愧の念にかられる。田舎から東京に出てきて、学生運動に挫折し出世を目指す吉岡には当時の脆弱なインテリ層が投影される。「人生」とはなにか、「愛」とはなにかを浦山監督が斬新な映像感覚で問いかける。

13 水 14:00
23 土 14:00
ツゴイネルワizen



監督:鈴木清順
出演:原田芳雄、大谷直子 1980年/カラー/35ミリ/144分/シネマ・ブラセット

青地と中砂は旅先で芸者の小稲と出会う。1年後中砂が結婚した女性・園は小稲にそっくりだった。園は豊子を産んで亡くなる。そして小稲が豊子の乳母となるのだった。内田百閒の小説などを元にした作品。現実とも幻想ともつかない極彩色の映像美の世界が描かれている。キネマ旬報ベストワン、日本アカデミー賞最優秀作品賞、ベルリン映画祭審査員特別賞などを受賞し、鈴木清順監督の代表作となった。

15 金 14:00
22 金 11:00
裸足のピクニック



監督:矢口史靖
出演:芹川砂織、浅野あかね 1992年/カラー/16ミリ/92分/ぴあ

高校生の鈴木純子は電車でキセルが見つかり車掌に捕まる。隙をみて逃げ出す純子だがカバンの中身を落とし、学校や家に通報されてしまう。家に帰れない純子は祖母の住む郡山に向かう。「ウォーターボーイズ」(01年)等のヒット作で知られる矢口史靖監督の長編映画デビュー作。純子が次々に不条理な不幸に見舞われていくブラックコメディ。PFFスカラシップ作品として製作された。

14 木 14:00
24 日 14:00
三文役者



監督:新藤兼人
出演:竹中直人、荻野目慶子 2000年/カラー/35ミリ/126分/近代映画協会

新藤監督の作品に欠かせない名俳優だった殿山泰司の生涯を描いた作品。殿山泰司は近代映画協会の設立のメンバーの一人であり、生涯で250本以上の映画に出演。自らを「三文役者」と呼び、酒を愛し89年に肝硬変で亡くなった。本作は近代映画協会の設立50周年記念として製作されたものだが、殿山泰司の愛すべき人生にオマージュを捧げた作品でもある。

通常
上映

伝説の8ミリ映画作家 中山太郎傑作選

総合図書館収蔵の8ミリ映画の特集

会期:12月3日(日)
観覧料:500円(大人)
400円(大学生・高校生)
300円(中学生・小学生)

※定員制。各回入替制。
※チケットはすべて当日券。前売り券はありません。(チケットの販売は上映の1時間前からです。)
※※障がい者の方、その介護者(1人)は無料。福岡市在住の65歳以上の方は250円。(手帳や保険証などの原本の提示が必要です。)
※「わたくしクラブ」会員の方は250円。(会員証の原本の提示が必要です。)

離島の人々



1952年/デジタル/カラー/21分

博多人形



1952年/デジタル/カラー/24分

プログラム1
(98分)

煙の見える海



1953年/デジタル/カラー/16分

秋晴れの日に



1955年/デジタル/モノクロ/14分

仔熊物語



1955年/デジタル/カラー/23分

旅役者



1958年/デジタル/カラー/30分

こころ



1958年/デジタル/モノクロ/16分

遠い声



1966年/デジタル/カラー/19分

白い道



1967年/デジタル/カラー/19分



1 金

休 映 日

2 土 自主上映 / FUKUOKA 48Hour Film Project

3 日 11:00 中山太郎傑作選プログラム1 14:00 中山太郎傑作選プログラム2

4 月 休 館 日

5 火 休 映 日

6 水 14:00 西鶴一代女

7 木 11:00 王将 14:00 早春

8 金 11:00 お嬢さん乾杯 14:00 夜の河

9 土 11:00 山の音 14:00 非行少女

10 日 11:00 にあんちゃん 14:00 青春残酷物語

11 月 休 館 日

12 火 休 映 日

13 水 14:00 ツィゴイネルワイゼン

14 木 11:00 心中天網島 14:00 三文役者

15 金 11:00 私が棄てた女 14:00 裸足のピクニック

16 土 11:00 王将 14:00 西鶴一代女

17 日 11:00 お嬢さん乾杯 14:00 早春

18 月 休 館 日

19 火 休 映 日

20 水 11:00 夜の河 14:00 山の音

21 木 11:00 青春残酷物語 14:00 非行少女

22 金 11:00 裸足のピクニック 14:00 にあんちゃん

23 土 11:00 心中天網島 14:00 ツィゴイネルワイゼン

24 日 11:00 私が棄てた女 14:00 三文役者

25 月 休 館 日

26 火 27 水 休 映 日

28 木 ▶ 1/4 木 年末年始の休館日

佐藤忠男選・日本映画セレクション

自主上映のお知らせ

FUKUOKA 48Hour Film Project 2023 プレミア上映会

脚本、撮影、そして編集と、すべての映画製作の過程を48時間以内で行い、1本の短編映画を完成させるという、他に類を見ない映画製作コンペディション。2023年大会の短編映画10~15作品をプレミア上映。あなたの投票で福岡の映画が世界大会にいけます。カンヌ上映の可能性も!?

日時: 12月2日(土) ①13:00 第1部 (2021年・2022年作品上映) ②17:00 第2部 (2023年作品プレミア上映)

料金: 第1部 500円 / 第2部 1,000円

主催: FUKUOKA 48Hour Film Project / TEL 092-716-2153 ※ 詳細につきましては直接主催者にお問い合わせください。

COLUMN



中山太郎 Taro Nakayama

1917年生まれ、福岡県出身。33年ごろより父親所有のパチンコ用撮影機でホーム・ムービーを撮り始める。41年、九州医学専門学校

を卒業、軍医として入隊。51年、福岡市内に内科医院を開業。52年、進駐軍から8ミリ機材を買い受け、医業の傍ら本格的に小型映画製作に取り組むこととなる。50年代から60年代にかけて、様々なジャンルの作品を自主制作する。また8ミリ映画製作の指導者としても活躍。1960年、映画「仔熊物語」でカンヌ国際小型映画コンクール・グランプリを受賞。1962年、映画「旅役者」でカンヌ国際小型映画コンクール・銀賞を受賞。70年代以降は九州大学医学部や福岡県教育委員会等から委託を受け16ミリの記録映画を多く手がけた。85年、福岡市文化賞受賞。92年、死去。

INFORMATION

映像ホール利用申込みについて

映像ホール・シネラは自主上映(非営利に限る)を希望される方について、下記のとおり利用申込みの受付を行います。

利用申込み対象期間 / 令和6年 6月~令和6年 11月
※別途配布の申込用紙に対象日を記載しています。
申込み受付期間 / 11月19日(日)~12月15日(金) ※休館日除く
抽 選 日 / 12月23日(土) 午前11時より
抽 選 会 場 / 福岡市総合図書館3階 第5研究室
利用申込書 / 申込み受付期間中、福岡市総合図書館で配布します。

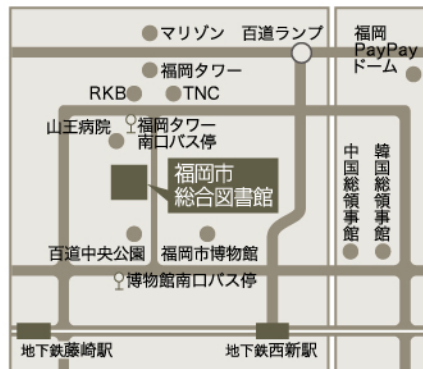
Fukuoka City Public Library Movie Hall Ciné-là

福岡市総合図書館映像ホール・シネラ

〒814-0001 福岡市早良区百道浜3丁目7番1号
福岡市総合図書館(代表) Tel.092(852)0600 Fax.092(852)0609

福岡市総合図書館 映像ホール・シネラ ホームページ

うえぶシネラ <http://www.cinela.com>



交通アクセス

当館の駐車場スペースに限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

市営地下鉄

西新駅または藤崎駅下車徒歩15分

西鉄バス

●博多駅、天神、西新から福岡タワー南口下車徒歩5分または博物館南口下車徒歩5分

●藤崎から福岡タワー南口下車徒歩5分

○所要時間は交通事情により異なります。バス運行時間、目的地までの所要時間の目安、またお近くのバス停からのご利用については、西鉄お客様センター(電話0570-00-1010)に直接お問い合わせください。

助成: 公益財団法人

福岡文化財団

発行: 映像ホール・シネラ実行委員会

R100 古紙配合率100%再生紙を使用しています。